



安全施策の徹底

コスモエネルギーグループは、CSR中計の重点項目として「安全施策の徹底」を掲げています。本来のコーポレート・ガバナンスとは異なる観点を追加し、企業価値向上の重要な基盤として、ガバナンス項目に意図的に「安全操業・安定供給」「品質確保」を重点課題として組み入れており、これらの目標とKPIを設定して安全管理体制の強化を推進していきます。

安全操業・安定供給

当社グループでは「コスモエネルギーグループ企業行動指針」の第1章に「安全で事故のない企業グループであり続けま

す」を掲げており、また、CSR中計においても「重点項目G:安全施策の徹底」の中で「労働災害の発生防止」「重大事故の発生防止」を目標に掲げ、安全施策に積極的に取り組んでいます。2019年度は当社グループにおいて重大労災を伴った重大事故が1件発生したことから、これを重く受け止め、再発防止策を徹底しました。

当社グループの中でも、製油所および工場部門においては、重大事故・重大労災発生件数0件を達成しました。製油所を保有するコスモ石油では、2020年度も継続して、休業労災度数率[※]・計画外停止率・入出荷停止日数について管理指標を

事故風化防止と不安全不具合削減の取り組み

コスモ石油では、2011年3月の千葉製油所液化石油ガス（LPG）出荷装置 および貯槽設備の火災・爆発事故の発生日を「コスモ石油安全の日」と設定しています。事故の教訓を風化させず、安全の重要性を再認識するために、事故の事象・原因・再発防止策などを編集したDVDをグループ全社員が視聴すると

設定し安全管理を実行するとともに、職場や作業環境の整備・OMS（操業マネジメントシステム）の運用を通じ、安全操業・安定供給に取り組んでいきます。

※「度数率」とは、100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表します。

グループ全体の労災件数

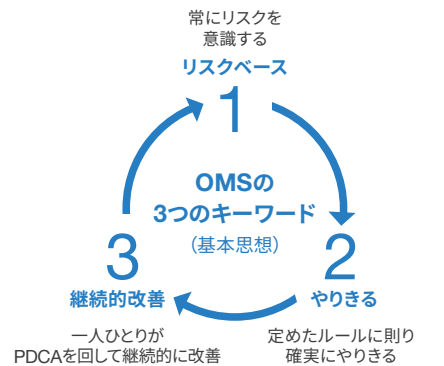
	2019年度						2018年度	
	総件数		直接雇用社員		協力会社等		総件数	
	休業	不休業	休業	不休業	休業	不休業	休業	不休業
業務上	13	85	5	39	8 ^{※1}	46	37	83
通勤途上	11	13	11	13	0	0	9 ^{※2}	22
合 計	24	98	16	52	8	46	46	105

※1 重大労災1件含む ※2 重大労災1件含む

操業マネジメントシステム（OMS）

コスモ石油では、世界標準以上の安全操業・安定供給に向けて「Operations Management System」を導入しています。

OMSの導入により、操業に関するマネジメントシステムが整い、その基盤の上で安全操業と安定供給の達成、業務の改善、機会損失の回避を達成していきます。



品質確保～品質保証体制の強化

コスモ石油ならびにコスモ石油マーケティングでは、「顧客が要望する品質を満たす安全な商品を経済的かつ安定的に供給する」ことを目的に、「CS・品質保証委員会」を設置し、品質保証方針の決定と活動の推進を行っています。

両社の「CS・品質保証委員会」は、コスモエネルギーホールディングスの安全・リスクマネジメント委員会と連携し、コスモ

エネルギーグループとして、品質保証体制を確立しています。

コスモ石油では、2019年度は、「供給部門」「物流部門」「販売部門」各部門において、重大製品・品質事故の発生防止をKPIとして掲げ、品質管理活動に取り組みました。

2019年度の活動実績は、製油所や油槽所での重大な品質トラブル0件、および不適合品出荷0件を継続中です。

丸善石油化学で2018年度日本品質奨励賞品質革新賞受賞

機能性樹脂事業を展開する部門（営業、購買、品証、製造、開発、品管の計6部署）では2013年から取り組んでいる品質小集団活動が高く評価され、一般財団法人日本科学技術連盟が授与する2018年度日本品質奨励賞品質革新賞を受賞しました。

機能性樹脂事業では半導体フォトレジスト用樹脂やその周辺材料の開発に力を入れています。過去には部署間の連携意識が希薄となり、顧客満足度が低下する事態が生じました。そこで、部署や組織の壁を越えた独自の品質マインド（顧客志向）を醸成することを目的に2013年度から品質小集団活動をスタートしました。「テーマは全チーム共通で年間1件」などの独自の活動を継続してきたことが評価されています。2019年度は、「デザイン思考」で顧客が共感する価値を作り出す実践編^①、として、前年度に提案した内容をさらに掘り下げ、各部署の課題に対する具体的、実践的な対応提案を行う活動を行いました。



日本品質奨励賞品質革新賞の受賞

グループ会社の安全施策の徹底

コスモエコパワー

風力発電事業を手掛けるコスモエコパワーでは、風力発電所を安全に効率よく稼働させるために、定期的な点検、故障やトラブル時の対応、24時間の遠隔監視を実施しております。こ

れまでの実績や経験などをもとに、故障個所や故障時期を推定し、長期停止前に部品などを交換する予防保全に力を入れています。

丸善石油化学

丸善石油化学では「安全ナンバーワン企業を目指す。」を経営方針の一つとしており、「安全は、経営の第一原則であり、企業の使命である」と考えています。また丸善石油化学が独自で掲げる行動基準の中でも、いかなる事故、災害の危険をも予知し、その防止に努めることで「無事故・無災害を継続」することを誓っています。

丸善石油化学の安全に係るすべての活動を「安全ナンバーワン活動」とし、千葉工場、四日市工場を始め、全社で保安防災、労働安全、物流安全における安全管理の一体的な推進を

図っています。

安全文化の醸成と自主保安活動の継続的な推進を図るため、毎年1回、活動発表会（ポスターセッション）を実施して活動のレベルを評価する、全員参加の安全活動（「CA1（Chemiway Anzen No.1）」）を開催しています。当初は5Sが中心の安全活動でしたが、最近では各部署の課題を反映した、自主的な改善型にまでステップアップしてきています。今後とも原点である「忘るな安全第一」を忘れることなく、安全文化を大事にしていきます。